

保健医療分野の国際協力 JICAタイ高齢者プロジェクトを例に

講師：横山 明子氏

(元JICAタイ・タンザニア保健医療プロジェクト専門家)

日時：2024年12月10日(火) 13:00-14:30

場所：津田塾大学小平キャンパス H301



※グローバルヘルス(4)の講義中に実施します。
受講生以外の方のご参加も歓迎します。

国際協力というと、高齢化やエイジングの課題と、あまり結びつきにくいと思われるかもしれませんが、グローバルヘルスにおける高齢者の健康課題への取組みは、近年、注目が高まっている分野です。

日本は急速に高齢化が進んでいる国ですが、他のアジアの国々、例えばシンガポールやタイでも既に「高齢社会」を迎えています。日本の高齢者のための医療や介護の仕組みを参考にしながら、タイに合った制度やサービスを開発するプロジェクトが、国際協力機構（JICA）の協力で行われてきました。今回の講演では、プロジェクト・コーディネーターの立場から、タイの高齢者プロジェクトの具体的な実践についてお話しします。社会として、国際協力として、どのようなことができるかを皆さんと一緒に考えたいと思います。



横山 明子 AKIKO YOKOYAMA

2003年東京外国語大学東南アジア課程タイ語科卒。
2005年日本福祉大学附属中央福祉専門学校卒（社会福祉士取得）。開発コンサルタント会社在职中、2006年～2007年にJICAタンザニア包括的マラリア対策プロジェクトに派遣。その後、国際NGO職員やJICA国際協力推進員、大学の非常勤講師を勤めた。2020年～2022年に、JICAタイ高齢者のための地域包括ケアサービス開発プロジェクトに派遣。現在は、岡山で大学の外部講師や弁護士事務所の社会福祉士として勤務。2011年日本福祉大学大学院国際社会開発研究科修了（開発学修士）、2024年大阪大学大学院人間科学研究科修了（人間科学博士）。